

○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基ついて、図上に地点を落とし込んだ。

簡略柱状図凡例

盛土層	改良土層	アスファルト
砕石、砕石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

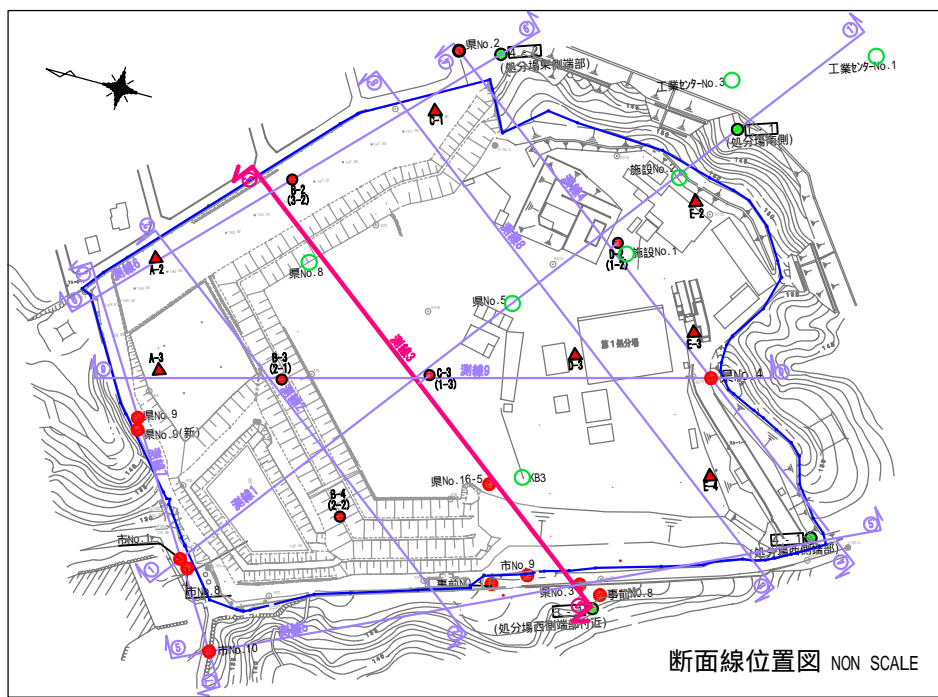
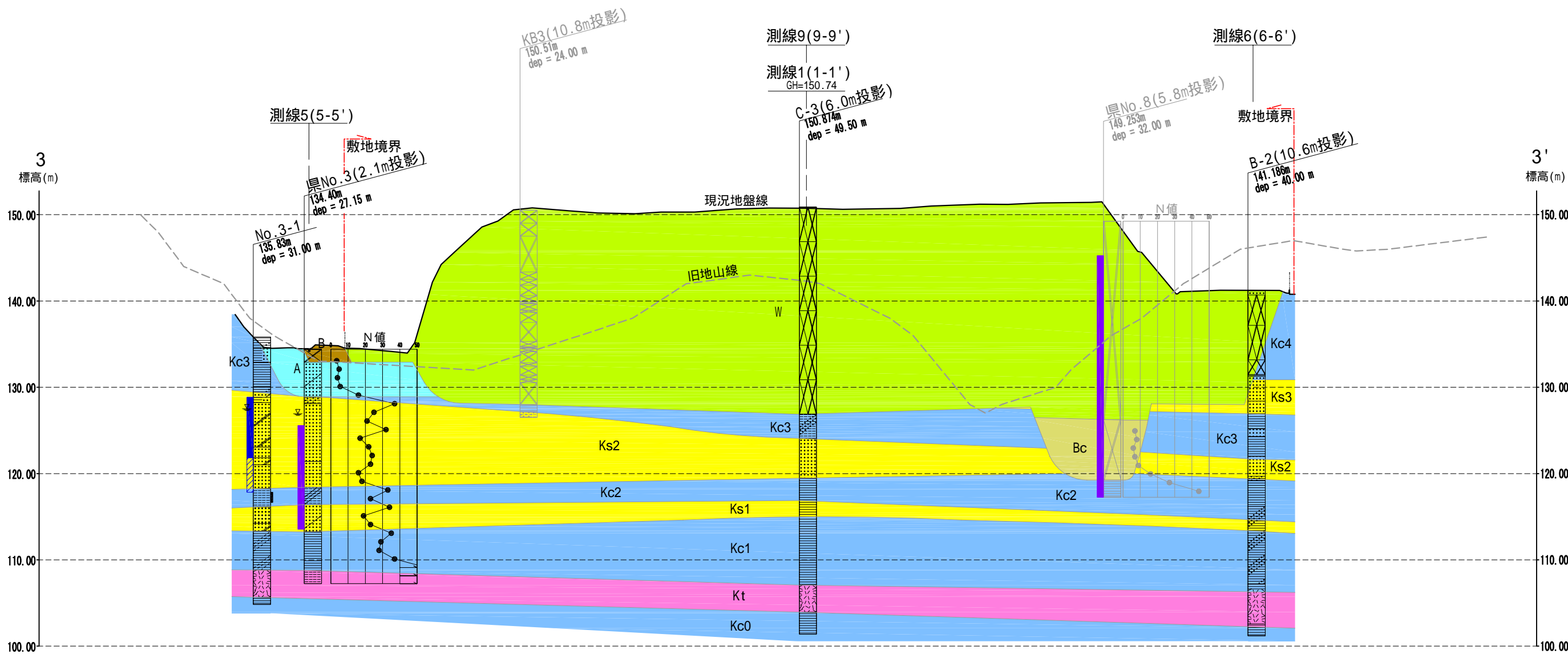
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

観測井スクリーン設置区間凡例

新設 塩ビストレーナー 開口率3%	柱状
新設 ステンレスストレーナー 開口率10%	状
既設 ストレーナー	図

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部
図面番号	図-3 縮尺 NON SCALE
図面名称	想定地質断面図 測線1(1-1 断面)



○の地点は現在では埋られており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基いて、図上に地点を落とし込んだ。

簡略柱状図凡例

盛土層	改良土層	アスファルト
砕石、砕石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

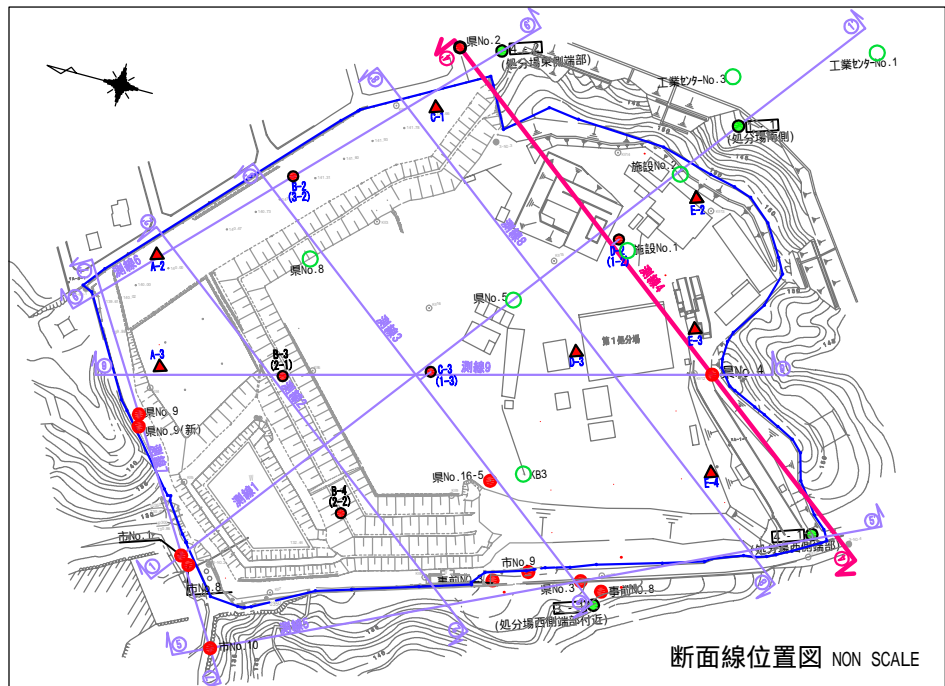
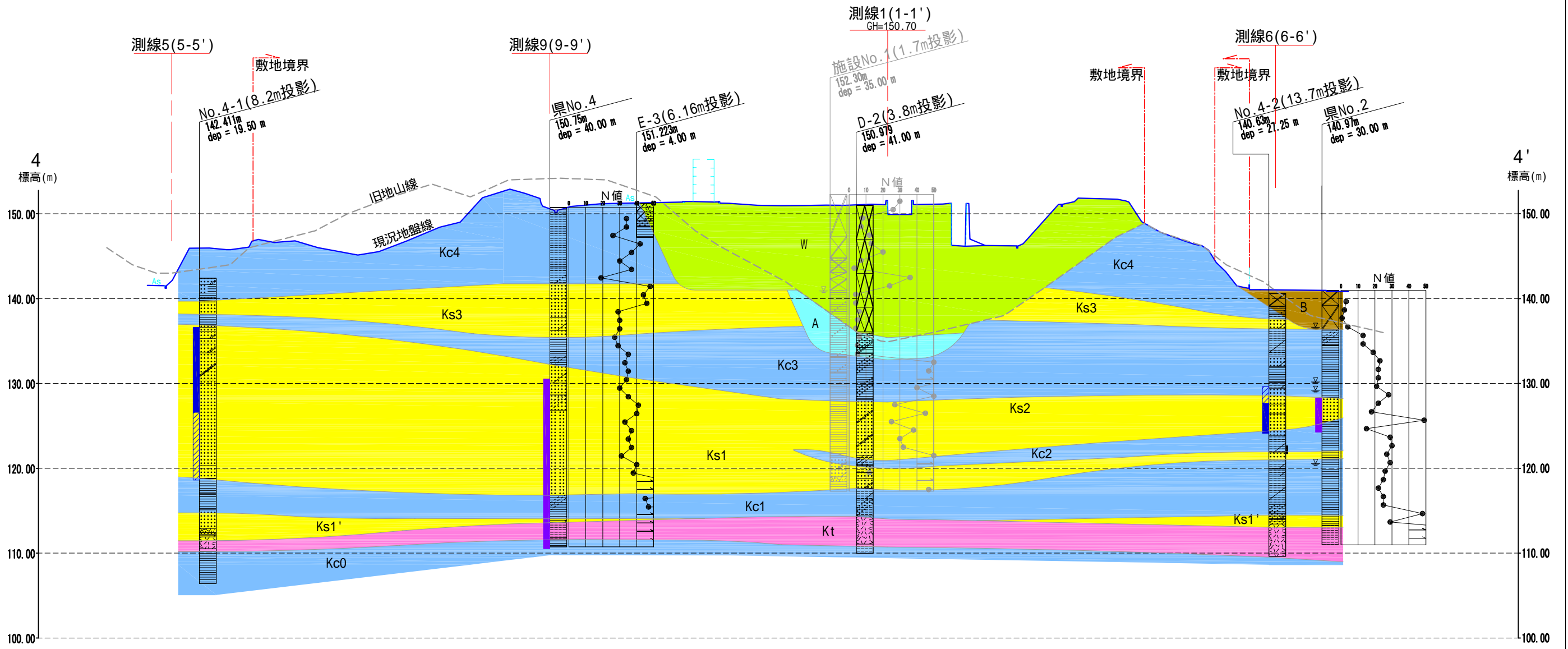
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

観測井スクリーン設置区間凡例

新設 塩ビストレーナー 開口率3%	柱状図
新設 ステンレスストレーナー 開口率10%	
既設 ストレーナー	

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-4	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線3(3-3 断面)		



○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基いて、図上に地点を落とし込んだ。

簡略柱状図凡例

盛土層	改良土層	アスファルト
砕石、砕石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

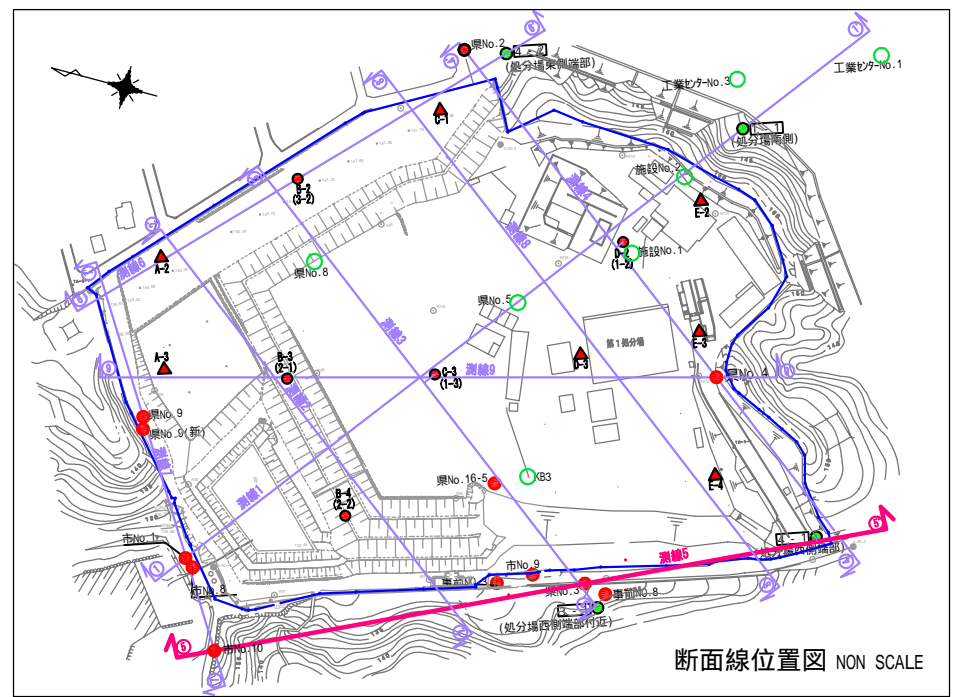
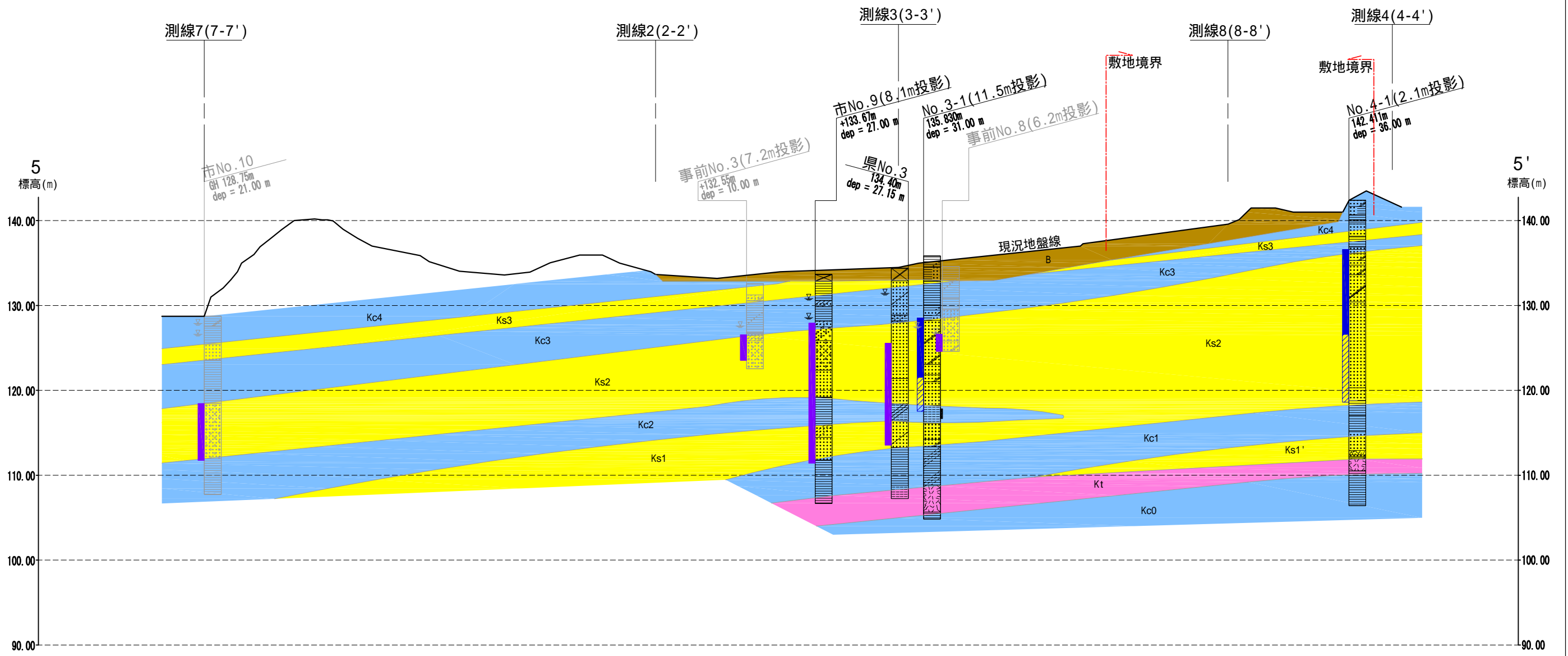
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

観測井スクリーン設置区間凡例

新設 塩ビストレーナー 開口率3%	柱状図
新設 ステンレスストレーナー 開口率10%	
既設 ストレーナー	

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-5	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線4(4-4 断面)		



○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基づいて、図上に地点を落とし込んだ。

簡略柱状図凡例

<地質区分>		
盛土層	改良土層	アスファルト
碎石、碎石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

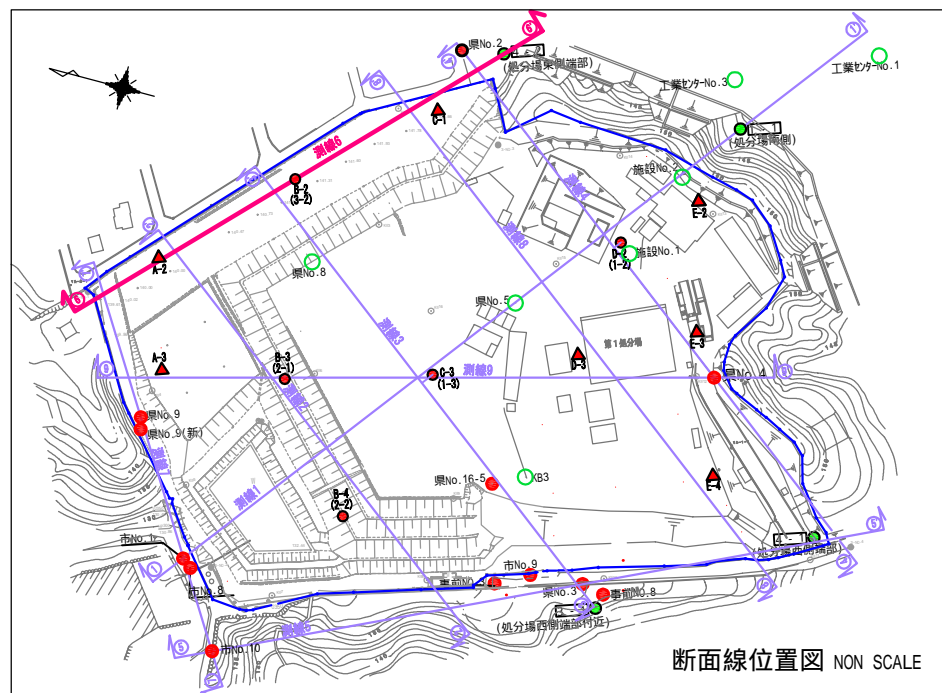
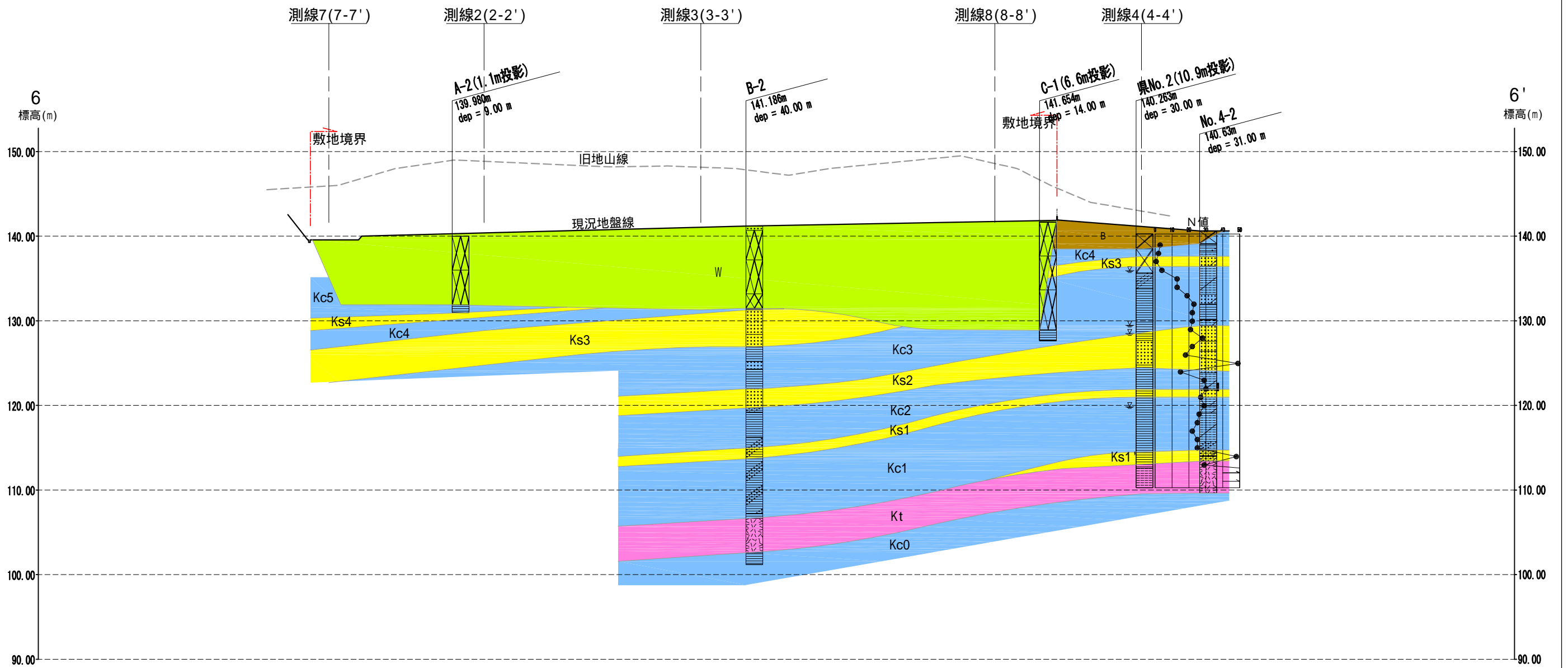
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

観測井スクリーン設置区間凡例

新設 塩ビストレーナー 開口率3%	柱状図
新設 ステンレスストレーナー 開口率10%	
既設 ストレーナー	

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-6	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線5(5-5 断面)		



○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基ついて、図上に地点を落とし込んだ。

簡略柱状図凡例

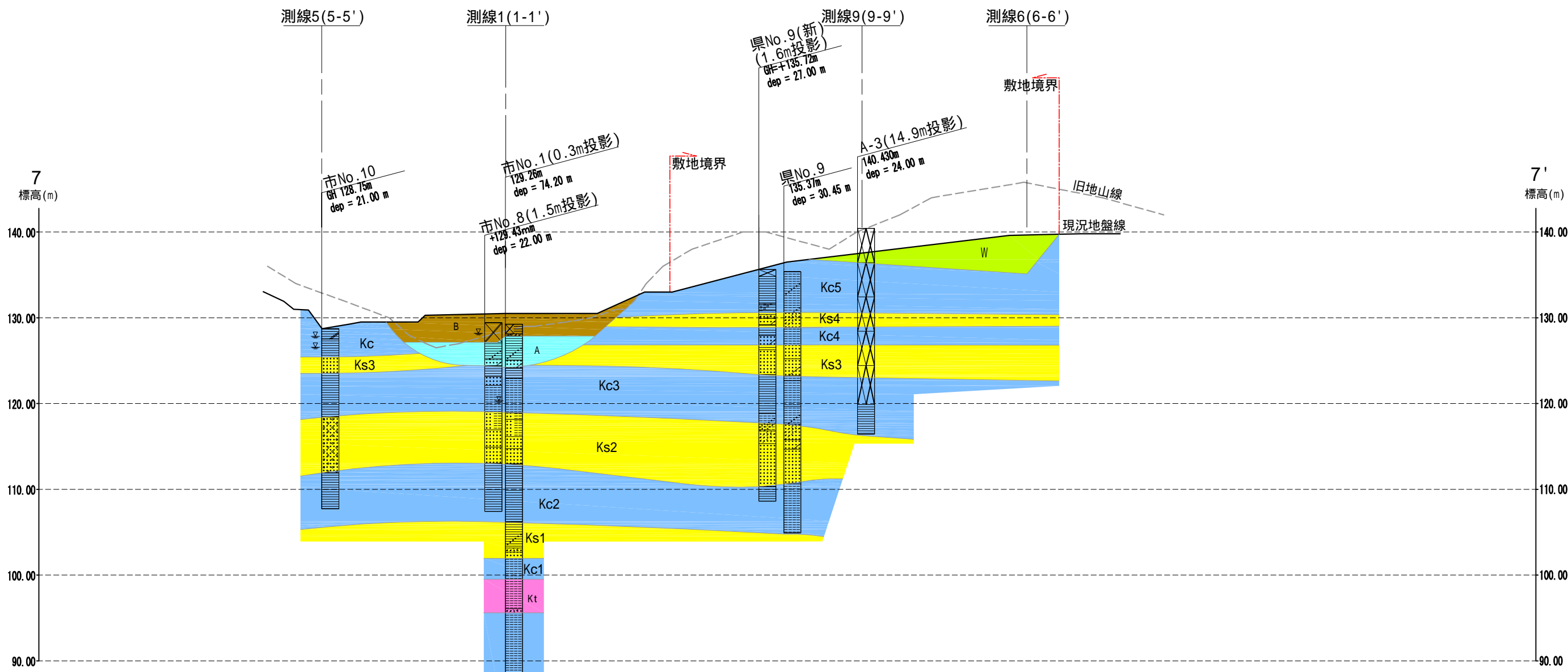
<地質区分>		
盛土層	改良土層	アスファルト
碎石、碎石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

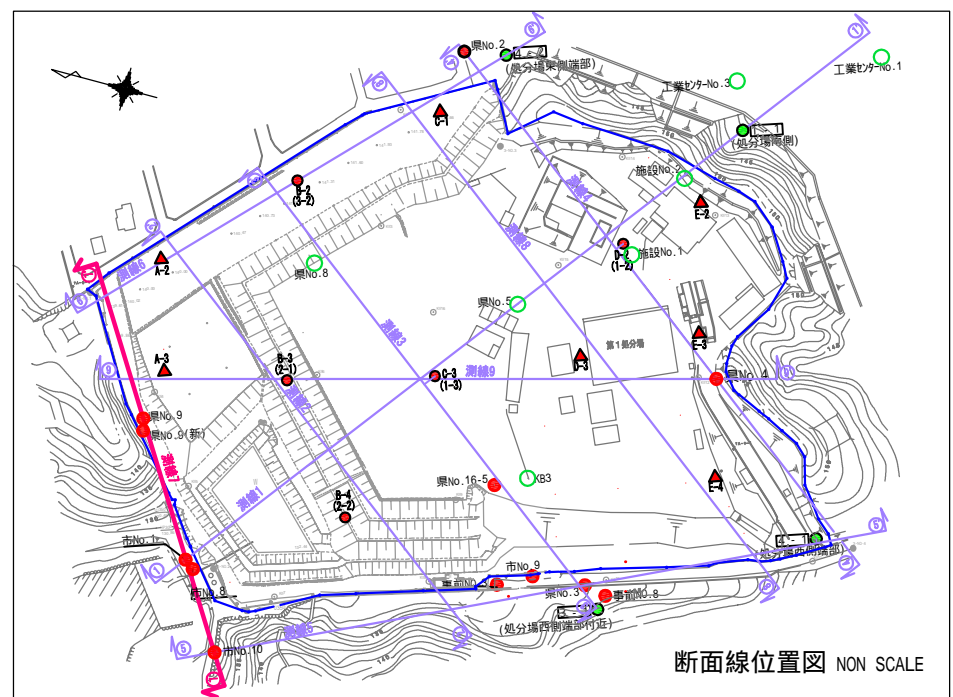
ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-7	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線6(6-6 断面)		



簡略柱状図凡例

<地質区分>		
盛土層	改良土層	アスファルト
砕石, 砕石ガラ	コンクリートガラ, その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		



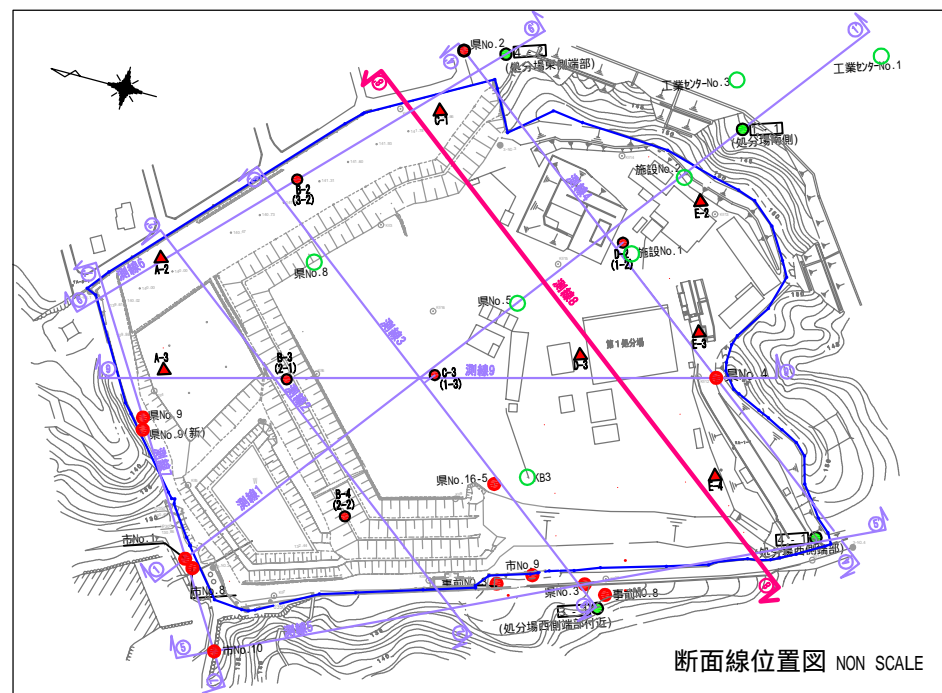
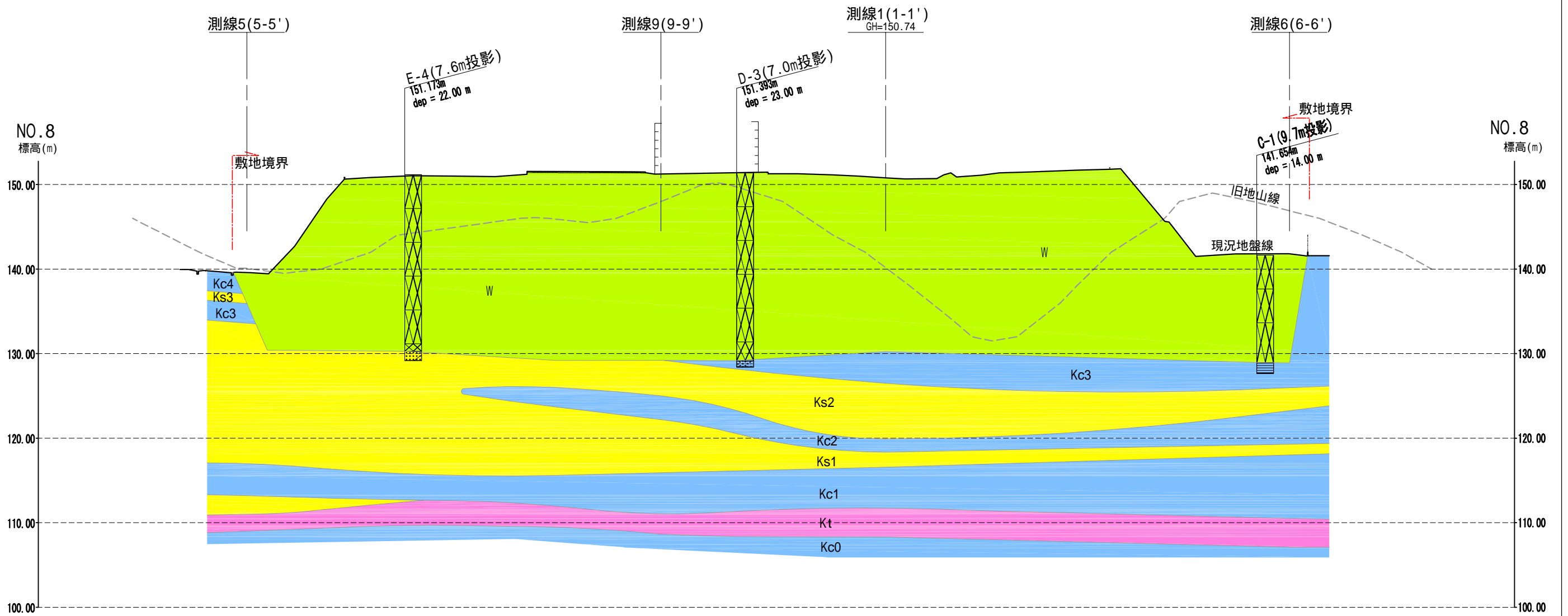
○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基づいて、図上に地点を落とし込んだ。

地質凡例

地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-8	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線7(7-7 断面)		



○の地点は現在では埋戻されており、測量にて地点の確認が出来ない為、過去の報告書の図面に基づいて、図上に地点を落とし込んだ。

断面線位置図 NON SCALE

簡略柱状図凡例

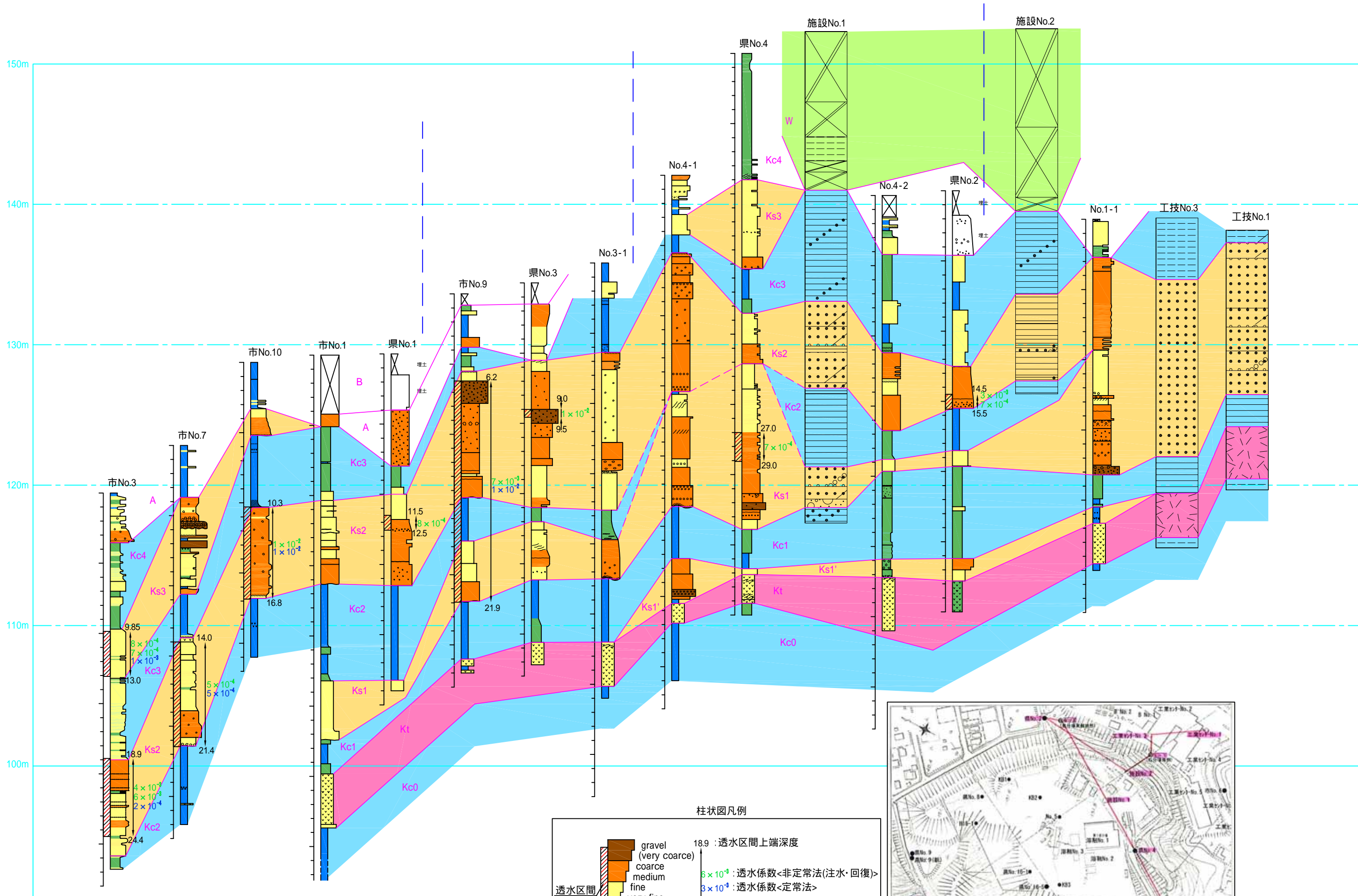
<地質区分>		
盛土層	改良土層	アスファルト
砕石、砕石ガラ	コンクリートガラ、その他ガラ	
粘性土層	粘土質	粘土混り
シルト層	シルト質	シルト混り
砂質土層	砂質	砂混り
砂レキ層	レキ質	レキ混り
火山灰		

地質凡例

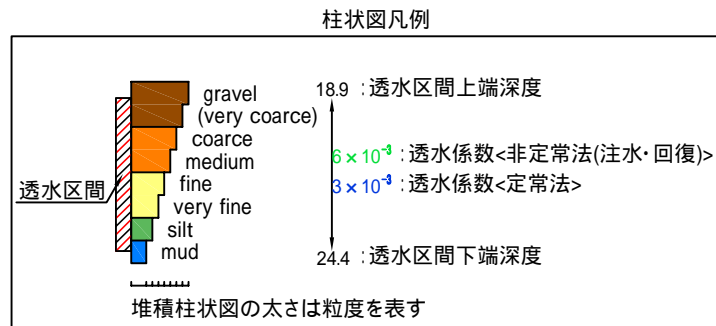
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘性土	Kc
	砂質土	Ks
	火山灰	Kt

ボーリング地点が灰色表示の柱状図はコアが無い為、見直しを実施していない。

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	図-9	縮尺	V=1:500 H=1:1000
図面名称	想定地質断面図 測線8(8-8 断面)		



縦: 1/250



ボーリング位置図

図-10(1) 堆積柱状図一覧(1)
-11-

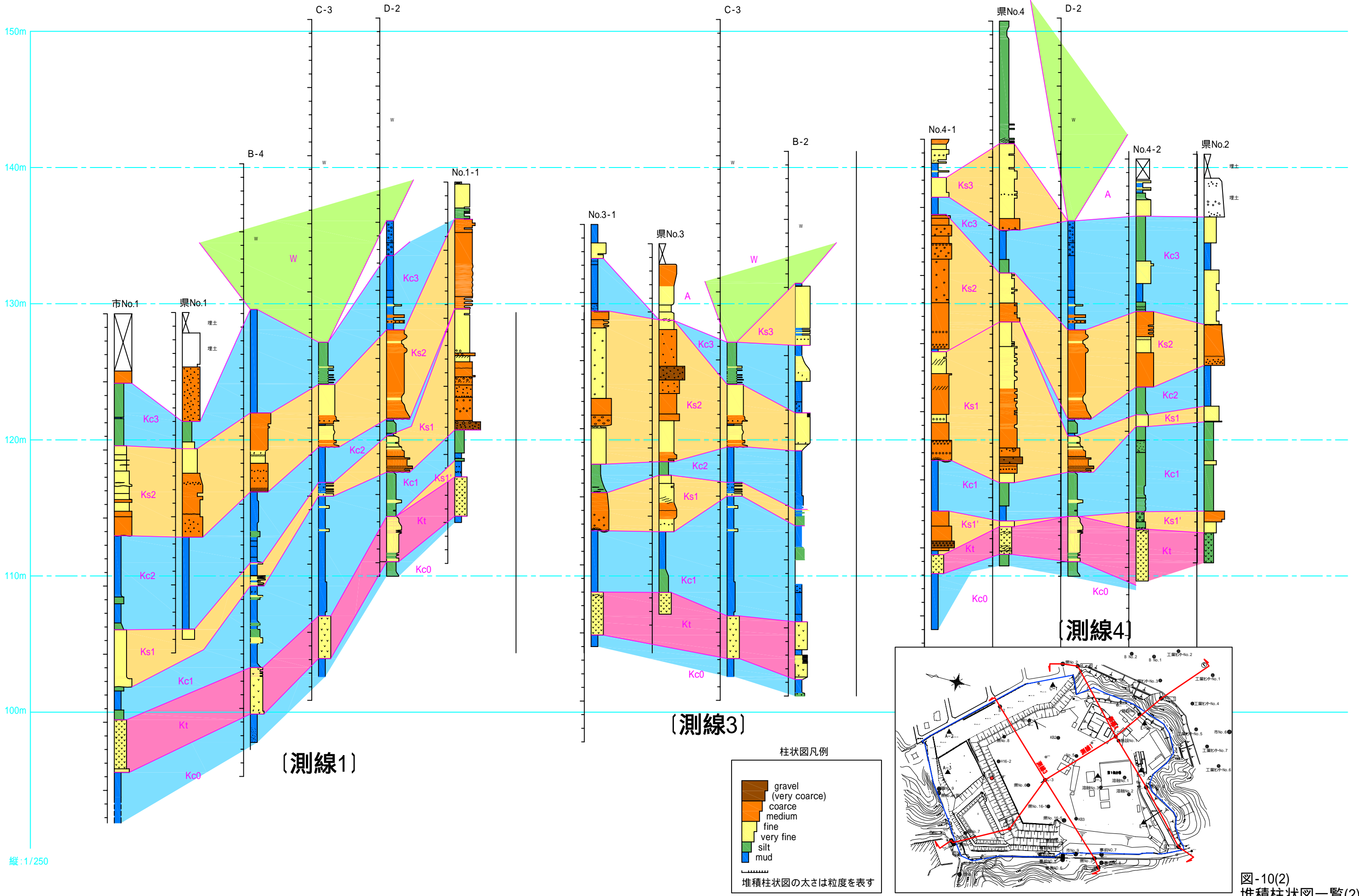


図-10(2) 堆積柱状図一覧(2)

表-2 一斉測水（水位測定）結果

地点名	地盤標高 (m)		管頭高 GL+m	対象帯水層	H19.4.16 水位標高(m)	H19.4.17 水位標高(m)	H19.5.21、22 水位標高(m)	H19.6.6 水位標高(m)	H19.6.26、27 水位標高(m)	H19.7.31 水位標高(m)
	従来	新規								
県NO.1-1	-	138.93	1.0	Ks1+Ks2砂層	-	-	-	128.39	128.43	128.98
県NO.3-1	-	135.83	0.2	Ks2砂層	-	-	-	127.37	127.44	128.20
県NO.4-1	-	142.41	0.7	Ks1+Ks2砂層	-	-	-	127.69	127.67	128.36
県NO.4-2	-	140.63	1.0	Ks2砂層	-	-	-	128.75	128.82	129.18
県NO.1	129.07	129.35	0.8	Ks2砂層	127.08	127.05	126.86	126.81	126.92	127.52
県NO.2	140.26	140.97	-0.2	Ks2砂層	128.88	128.82	-	128.68	128.74	129.09
県NO.3	134.55	134.40	0.7	Ks1+Ks2砂層	127.67	127.63	127.46	127.38	127.48	128.19
県NO.4	150.54	150.75	0.8	Ks1+Ks2砂層	128.41	128.33	128.21	128.11	128.11	128.72
県NO.9	-	135.87	0.7	Ks2砂層	127.10	127.06	126.89	126.83	126.94	127.55
県NO.9(新)	135.72	135.53	0.8	Ks2砂層	-	127.06	126.88	126.83	126.95	127.56
市NO.1	129.25	129.26	1.0	Ks0砂層	121.04	121.03	120.83	120.82	120.89	120.93
市NO.2	129.25	129.27	0.9	沖積層砂層	128.60	128.58	128.56	128.58	128.67	128.72
市NO.3	119.33	119.44	0.9	Ks2砂層	-	-	124.75	124.68	124.88	124.95
市NO.4	119.33	119.44	0.9	沖積層砂層	-	-	119.42	119.39	119.54	119.52
市NO.5	119.33	119.44	0.9	Ks3砂層	-	-	124.31	123.96	124.71	124.56
市NO.6	141.07	140.86	0.8	Ks1+Ks2砂層	129.26	129.23	129.14	129.23	129.46	129.96
市NO.7	122.77	122.83	1.0	Ks2砂層	123.59	-	123.56	123.78	124.15	125.10
市NO.7-2	122.67	122.86	1.0	Ks3砂層	-	-	123.25	123.57	123.55	123.58
市NO.8	129.43	129.38	1.1	Ks2砂層	127.10	127.06	126.88	126.83	126.93	127.54
市NO.9	133.67	133.62	-0.1	Ks1+Ks2砂層	127.63	127.60	127.39	127.30	127.38	128.08
市NO.9-1	-	134.66	-0.1	Ks1砂層	-	-	-	-	-	128.14
市NO.10	128.75	128.74	1.1	Ks2砂層	127.07	127.03	126.86	126.80	126.90	127.51
事前NO.2	132.52	132.43	0.0	Ks2砂層	127.50	127.43	127.26	127.21	127.29	127.97
事前NO.3	132.55	132.45	-0.1	Ks2砂層	127.42	127.43	127.26	127.20	127.28	127.96
事前NO.4	132.53	132.43	0.0	Ks2砂層	127.45	127.43	127.27	127.21	127.29	127.97
事前NO.5	132.74	132.62	0.9	Ks2砂層	127.46	127.44	127.26	127.20	127.29	127.98
事前NO.6	132.81	132.72	1.0	Ks2砂層	127.46	127.44	127.28	127.22	127.25	128.17
事前NO.7	135.53	135.46	0.0	Ks2砂層	127.68	127.65	127.47	127.40	127.48	128.20
事前NO.8	134.61	134.53	0.9	Ks2砂層	127.63	127.61	127.45	127.38	127.46	128.17

注1：地盤標高で「新規」とは、平成18年度業務で測量した最新の結果であり、「従来」は平成18年度の測量実施以前のものである。

注2：Ks2層およびKs1層と同一である層（Ks1-2）をコンター図作成の対象とし、表中網掛けで示した。